

いちよし・グローバル株式ファンド

追加型投信／内外／株式

愛称：

いちばん星

おかげさまで4周年

R & I ファンド大賞 最優秀ファンド賞受賞



R & I ファンド大賞 2026
＜投資信託／外国株式コア部門＞
最優秀ファンド賞

「R & I ファンド大賞」は、R & I が信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報（ただし、その正確性及び完全性につき R & I が保証するものではありません）の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務（信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR & I に帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

お申込みの際は、最新の「投資信託説明書（交付目論見書）」等を必ずご覧ください。

■投資信託説明書（交付目論見書）のご請求・お申込み



いちよし証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第24号
加入協会：日本証券業協会、
一般社団法人資産運用業協会

■資料の作成、設定・運用



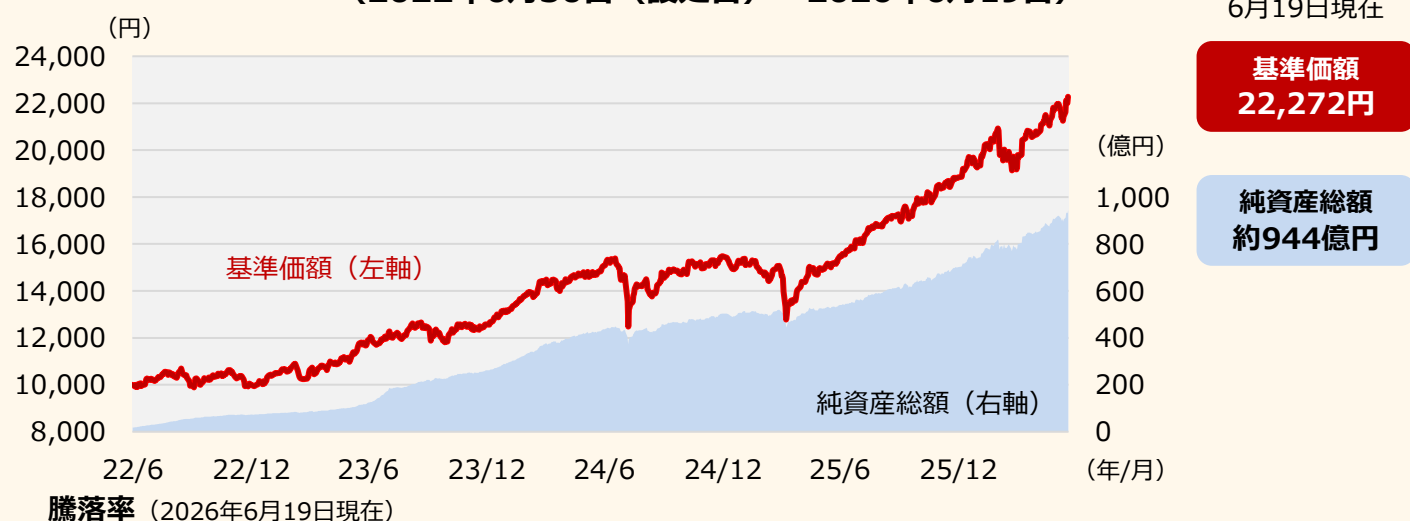
三井住友DSアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号
加入協会：一般社団法人資産運用業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定来のパフォーマンスは約123%上昇

- 2022年6月末から現在までの約4年間に於いて、グローバル株式市場は、金利上昇や地政学的リスクの高まりなどから一時的に調整する局面もありましたが、世界景気の拡大を背景に概ね堅調に推移し、当ファンドは設定来で約123%上昇（2026年6月19日現在）しました。
- 当ファンドは、中長期的な資産形成をサポートするための報酬体系として、購入時の手数料は無料、信託報酬（固定部分の基本報酬）も低水準に設定されています。さらに基準価額が上昇した場合にのみ販売会社が実績報酬*を受け取るしくみとなっており、今後も信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行ってまいります。

* 詳しくは5ページおよび投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

基準価額と純資産総額の推移 （2022年6月30日（設定日）～2026年6月19日）

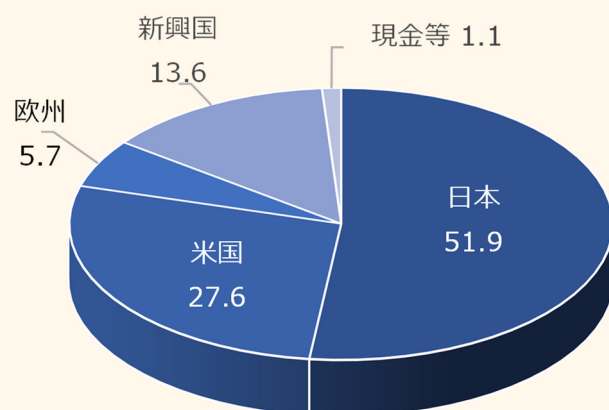


(注1) 基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。(注2) 2026年6月19日現在において分配を行っておりません。

(注3) 騰落率は基準価額を基に算出したものであり、実際の投資家利回りとは異なります。

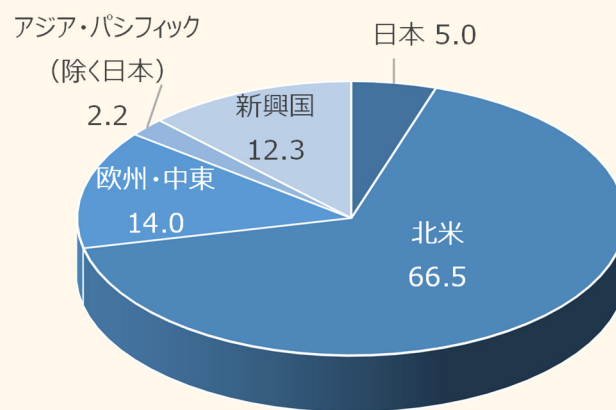
当ファンドの国・地域別構成比率 (%)

(2026年5月末)



グローバル株式の国・地域別構成比率 (%)

(2026年5月末)



(注1) 当ファンドの構成比率は純資産総額を100%として算出。四捨五入の関係上、合計が100%にならない場合があります。

(注2) 当ファンドの地域の構成国は、ディメンショナル・ファンド・アドバイザーズ、グローバル株式の地域の構成国は、MSCIの基準に基づく。

(注3) グローバル株式はMSCI AC ワールド・インデックス。グローバル株式は当ファンドのベンチマークおよび参考指数ではありません。

(出所) FactSetのデータを基に委託会社作成

※ 上記は過去の実績、当資料作成時点の運用方針であり、当ファンドの将来の運用成果や今後の市場環境等を示唆あるいは保証するものではありません。今後、予告なく変更される場合があります。

※ ファンド購入時には、手数料はかかりません。換金時には費用、税金などがかかる場合があります。詳しくは8ページをご覧ください。

各資産の動向①

- 設定来の当ファンドのパフォーマンスは、日本株式（バリュー）および欧州株式（バリュー）の上昇が大きく貢献しました。
- 日本株式（バリュー）は、東証要請によるガバナンス改革や、株主還元強化が継続する環境下、グロース銘柄からバリュー銘柄への物色銘柄の転換等も背景に、力強く上昇しました。
- 日本株式（中小型）は、大型株から中小型株への物色銘柄の転換や、米関税政策の影響を回避しようとする流れから、輸出依存度の低い内需関連株が注目され、概ね堅調に推移しました。
- 米国株式は、AI関連企業の好業績と投資拡大などが追い風となり、テクノロジーセクター等にけん引される形で概ね堅調に推移しました。

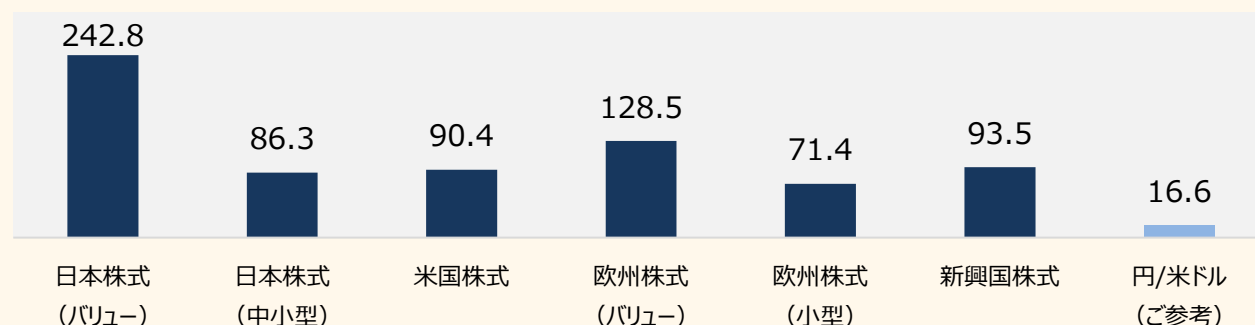
組入投資信託等の騰落率（2025年6月～2026年5月、月次）

（%）

	日本株式 (バリュー)	日本株式 (中小型)	米国株式	欧州株式 (バリュー)	欧州株式 (小型)	新興国株式	円/米ドル (ご参考)
2025年6月	0.9	3.2	4.5	3.5	4.0	5.3	0.7
7月	4.2	2.6	3.0	0.7	-1.7	1.9	3.2
8月	10.1	5.6	3.3	4.2	2.1	2.7	-1.7
9月	2.7	0.7	1.5	0.0	-0.7	4.8	1.3
10月	6.1	-0.6	0.9	1.6	0.1	4.0	3.5
11月	7.4	4.3	0.7	3.5	-0.4	-2.0	1.6
12月	2.2	2.1	1.9	5.0	4.0	2.3	-0.0
2026年1月	4.7	1.8	2.2	6.5	6.2	9.7	-1.9
2月	12.8	9.8	0.6	3.4	0.3	4.1	1.4
3月	-7.6	-7.5	-8.1	-7.4	-11.7	-12.0	2.6
4月	6.0	6.3	11.2	6.5	8.4	14.7	0.3
5月	8.4	0.4	4.9	2.1	5.5	8.5	-0.6
過去1年	73.6	31.6	28.3	31.6	14.7	50.3	10.8

設定来の組入投資信託の騰落率（2022年6月末～2026年5月末）

（%）



（注1）組入投資信託の騰落率は、ファンドの騰落率と整合を図るため、原則として基準日前日の数値を基に算出しています。組入投資信託については、最終ページをご覧ください。

（注2）日本株式は円ベース、米国株式、欧州株式、新興国株式は米ドルベースの騰落率です。

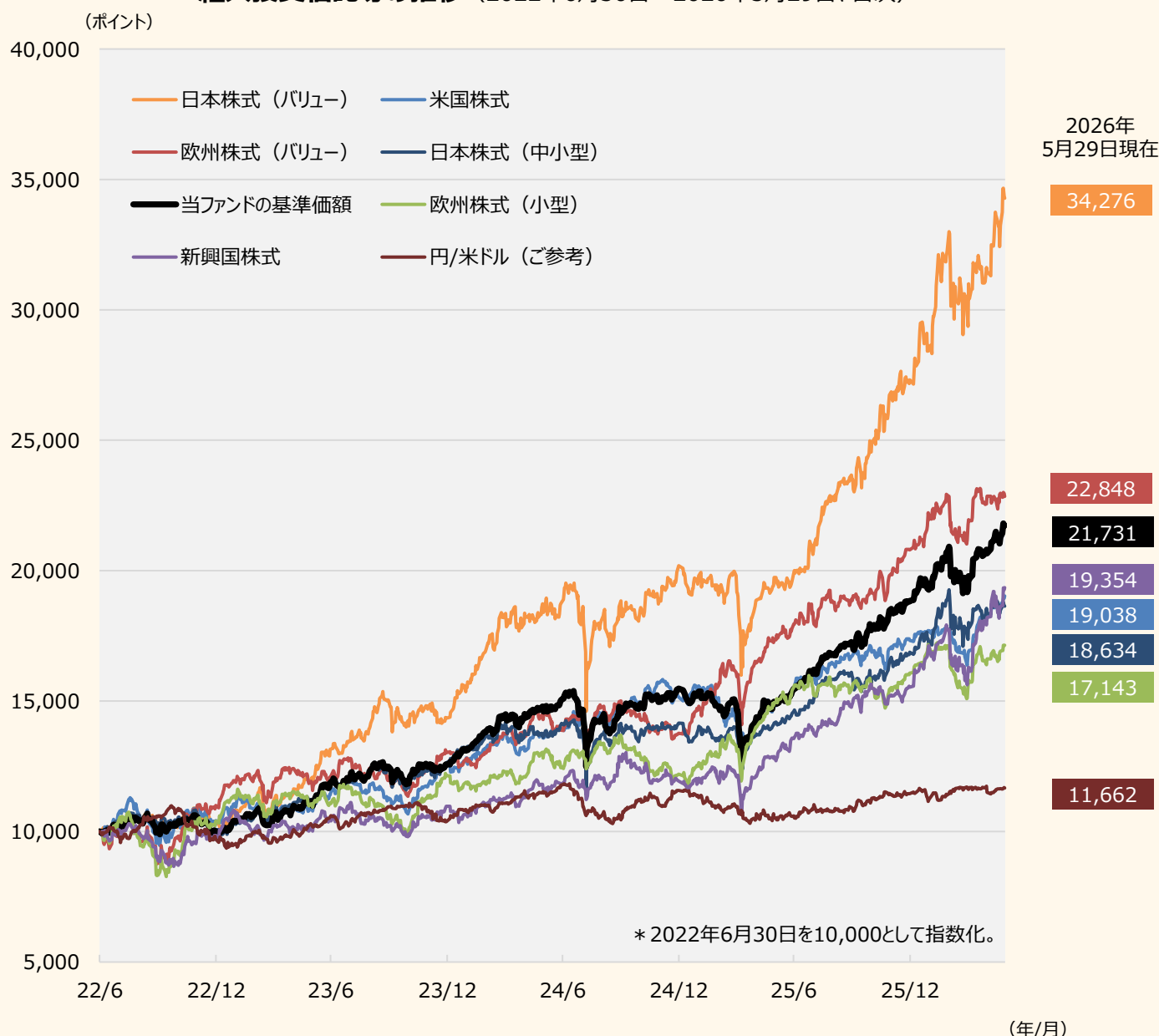
（注3）為替レートは一般社団法人資産運用業協会が発表する仲値（TTM）です。

※上記は過去の実績であり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

各資産の動向②

- 欧州株式（バリュー）は、金融政策において利上げが終了したとの見方や、EU各国政府の積極的な設備投資などの要因から2025年以降は、当ファンドのパフォーマンスをけん引しました。
- 欧州株式（小型）は、大型株対比で割安株が多いことからバリュー株同様の恩恵を受けたこと、米関税政策からの耐性の高さが評価されたことなどを背景に、概ね堅調に推移しました。
- 新興国株式は、韓国、台湾のAI関連企業や、金融政策が安定期に入ったとみられる中南米の金融関連銘柄などが力強く上昇しました。

組入投資信託等の推移（2022年6月30日～2026年5月29日、日次）



(注1) 当ファンドの基準価額も、2022年6月30日（9,999円）を10,000として表示。そのため、1ページのグラフとデータが異なります。

(注2) 当ファンドは2026年5月29日現在において分配を行っておりません。

(注3) 組入投資信託は、ファンドと整合を図るため、原則として基準日前日の数値を基に算出しています。組入投資信託については、最終ページをご覧ください。

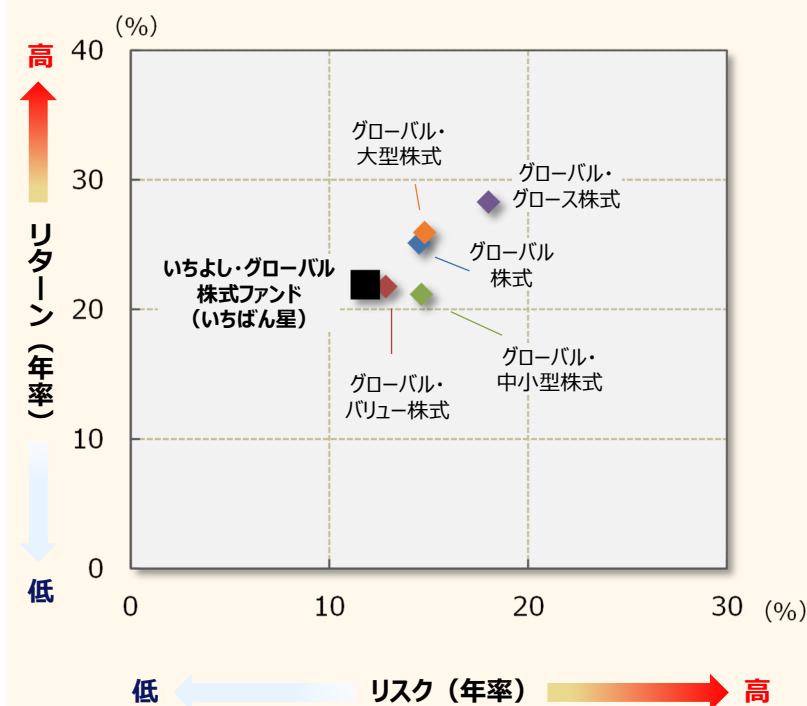
(注4) 為替レートは一般社団法人資産運用業協会が発表する仲値（TTM）です。

※ 上記は過去の実績であり、当ファンドの将来の運用成果や今後の市場環境等を示唆あるいは保証するものではありません。
 ※ ファンド購入時には、手数料はかかりません。換金時には費用、税金などがかかる場合があります。詳しくは8ページをご覧ください。

ミドルリスク、ミドルリターンで投資効率は良好

- 「いちよし・グローバル株式ファンド」（愛称：いちばん星）は、中長期的な資産の成長を目指して、世界の割安株や中小型株等に分散投資を行っており、相対的にミドルリスク、ミドルリターンが見込まれます。
- 設定来のリターンは、最も上昇したグローバル・グロース株式の約77%の水準で、リスクは約65%に抑えられています。リスクに対するリターンの割合であらわせる投資効率は1.86と主要株価指数と比較し優位になっています。

当ファンドと主要株価指数のリスク・リターン特性（2022年6月末～2026年5月末、月次）



	グローバル 株式	グローバル・ バリュー株式	グローバル・ 中小型株式
リスク (%)	14.5	12.8	14.6
リターン (%)	25.1	21.8	21.2
投資効率	1.73	1.69	1.45

	グローバル・ グロース株式	グローバル・ 大型株式	いちばん星
リスク (%)	18.0	14.8	11.8
リターン (%)	28.3	26.0	21.9
投資効率	1.57	1.76	1.86

（注1）グローバル株式はMSCI AC ワールド・インデックス、グローバル・大型株式はMSCI AC ワールド・インデックス・大型株、グローバル・中小型株式はMSCI AC ワールド・インデックス・中小型株、グローバル・バリュー株式はMSCI AC ワールド・インデックス・バリュー、グローバル・グロース株式はMSCI AC ワールド・インデックス・グロース、いずれも配当込み、円ベース。各指数は当ファンドのベンチマークおよび参考指数ではありません。

（注2）リターンは騰落率を年率換算。リスクは同期間の月次騰落率の標準偏差を年率換算。投資効率はリターンをリスクで除した数値です。

（出所）Bloombergのデータを基に委託会社作成

今後の見通しと運用方針

- 中東情勢や原油価格の動向に留意が必要ですが、米国は良好な景気動向を背景に、経済の拡大基調を見込んでいます。日本株についても、概ね堅調に推移すると考えます。引き続き、家計をサポートするような財政政策や、株主還元策の強化が推進されるとみられ、日本株にとって好ましい環境が維持される可能性が高いと考えます。
- 投資対象とする国・地域（米国、欧州、日本および新興国）の配分にあたっては、いちよし証券の助言を活用します。投資信託証券（上場投資信託証券（ETF）を含む）への投資を通じて、日本を含む世界の割安株や中小型株等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

※上記は過去の実績、当資料作成時点の見通しおよび運用方針であり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。今後、予告なく変更される場合があります。

実績報酬について

- 当ファンドの信託報酬では、ファンドの純資産総額に一定率を乗じた基本報酬のほか、運用実績に応じてハイ・ウォーター・マーク方式により実績報酬をいただきます。

※ハイ・ウォーター・マークとは、実績報酬を算出する際の基準となる価額です。

- 毎営業日、実績報酬控除前の基準価額*がハイ・ウォーター・マークを上回った場合、その超過額の5.5%（税抜き5%）が実績報酬となります。

* 信託報酬の基本報酬および経費控除後の価額です。

※計理処理の関係上、実績報酬控除前基準価額がハイ・ウォーター・マークを上回っても実績報酬が発生しない場合があります。

$$\text{実績報酬} = (\text{実績報酬控除前の基準価額} - \text{ハイ・ウォーター・マーク}) \times 5.5\% \text{ (税抜き5\%)}$$

ハイ・ウォーター・マーク（HWM）について

- 当初設定日は10,000円（1万口当たり）とします。

- 設定日の翌営業日以降

①実績報酬控除前の基準価額 > ハイ・ウォーター・マーク → ハイ・ウォーター・マークは実績報酬控除後の基準価額に更新されます。

②実績報酬控除前の基準価額 ≤ ハイ・ウォーター・マーク → ハイ・ウォーター・マークは更新されません。

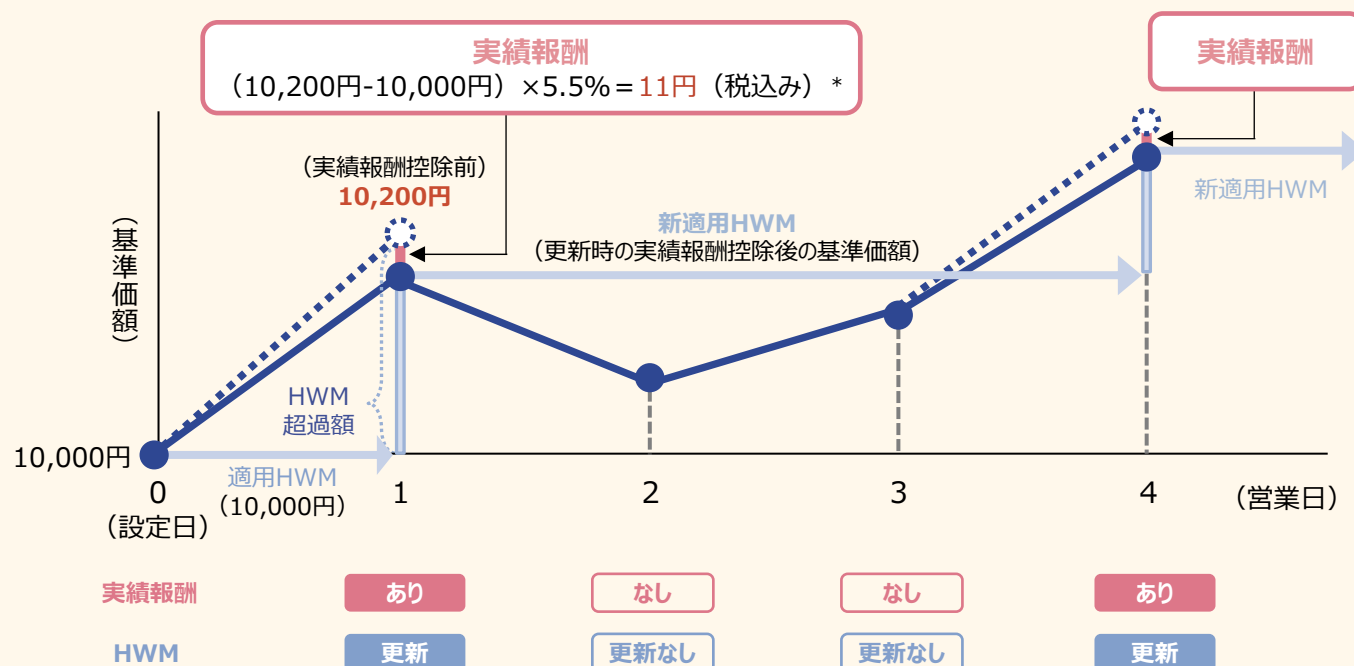
- 収益分配時の調整

決算日に分配が行われる場合、ハイ・ウォーター・マークは分配金額を控除した価額に調整されます。（実績報酬がある場合は、実績報酬も控除されます。）

<実績報酬の留意点>

- 日々の基準価額は信託報酬（基本報酬および実績報酬）や経費が反映された後の価額です。したがって、実績報酬の支払い時（毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了時）や解約時に実績報酬が基準価額から差し引かれるものではありません。
- 実績報酬は日々の基準価額に反映されるため、その後の基準価額が下落した場合でも、ファンドに返金されるものではありません。

実績報酬とハイ・ウォーター・マーク（HWM）のイメージ（概算）



* 実績報酬は円未満切捨て

※概算をわかりやすくするために、設定日の基準価額（1万口当たり）を10,000円としています。実際の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。（消費税率10%で計算しています。）

※上記は理解を深めていただくためのイメージであり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

ファンドの特色

1. 主として、日本を含む世界の割安株や中小型株等に投資を行います。
 - 実際の運用は、投資信託証券（ETFを含む）への投資を通じて行います。
2. 投資対象とする国・地域（米国、欧州、日本および新興国）の配分にあたっては、いちよし証券の助言を活用します。
 - いちよし証券から投資環境分析に基づいた、国・地域への投資配分に関する投資助言を受けます。
 - 各国・地域（米国、欧州、日本および新興国）への投資配分比率は、株価のバリュエーション分析に基づいた割安度等を基に決定し、原則3ヵ月毎に見直します。
 - 投資信託証券への投資にあたっては、各国・地域毎に、情報収集・運用能力に優れた運用会社が運用する投資信託証券を三井住友DSアセットマネジメントが厳選します。また、継続的にモニタリングを行い、必要な場合は除外・追加も行います。
3. 実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
 - 基準価額は為替変動の影響を受けます。

※ 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク

基準価額の変動要因

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 運用の結果として信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。
- 投資信託は預貯金と異なります。また、一定の投資成果を保証するものではありません。
- 当ファンドの主要なリスクは以下の通りです。

■ 株式市場リスク

【株価の下落は、基準価額の下落要因です】

内外の経済動向や株式市場での需給動向等の影響により株式相場が下落した場合、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、個々の株式の価格はその発行企業の事業活動や財務状況等によって変動し、株価が下落した場合はファンドの基準価額が下落する要因となります。

■ 信用リスク

【債務不履行の発生等は、基準価額の下落要因です】

ファンドが投資している有価証券や金融商品において債務不履行が発生あるいは懸念される場合、またはその発行体が経営不安や倒産等に陥った場合には、当該有価証券や金融商品の価格が下がったり、投資資金を回収できなくなったりすることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

■ 為替変動リスク

【円高は基準価額の下落要因です】

外貨建資産への投資は為替変動の影響を受けます。ファンドが保有する外貨建資産の価格が現地通貨ベースで上昇する場合であっても、当該現地通貨が対円で下落する（円高となる）場合、円ベースでの評価額が下落し、基準価額が下落することがあります。

■ カントリーリスク

【投資国の政治・経済等の不安定化は、基準価額の下落要因です】

海外に投資を行う場合には、投資先の国の政治・経済・社会状況の不安定化、取引規制や税制の変更等によって投資した資金の回収が困難になることや、その影響により投資する有価証券等の価格が大きく変動することがあり、基準価額が下落する要因となります。

特に投資先が新興国の場合、その証券市場は先進国の証券市場に比べ、より運用上の制約が大きいことが想定されます。また、先進国に比べ、一般に市場規模が小さいため、有価証券の需給変動の影響を受けやすく、価格形成が偏ったり、変動性が大きくなる傾向が考えられます。

■ 流動性リスク

【市場規模の縮小・取引量の低下により、不利な条件での取引を余儀なくされることは、基準価額の下落要因です】

有価証券等を大量に売買しなければならない場合、あるいは市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等に、十分な数量の売買ができなかったり、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

その他の留意点

〔分配金に関する留意事項〕

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- 中小型株は、株式市場全体の値動きと比較して、相対的に値動きが大きくなることがあり、ファンドの基準価額の変動も大きくなることがあります。また、中小型株の値動きが株式市場全体の値動きと異なる場合、ファンドの基準価額の値動きは、株式市場全体の値動きと異なることがあります。
- 投資対象国によっては、有価証券の売買を行う際の売買益等に対して課税される場合があります。将来、これらの税率や課税方法が変更された場合、または新たな税制が適用された場合、基準価額に影響を及ぼすことがあります。
- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性、換金申込みの受け付けが中止となる可能性、既に受け付けた換金申込みが取り消しとなる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性等があります。

お申込みメモ

購入単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

購入価額

購入申込受付日の翌営業日の基準価額

購入代金

販売会社の定める期日までにお支払いください。

換金単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

換金価額

換金申込受付日の翌営業日の基準価額

換金代金

原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いします。

信託期間

無期限（2022年6月30日設定）

決算日

毎年6月10日（休業日の場合は翌営業日）

収益分配

決算日に、分配方針に基づき分配金額を決定します。委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

分配金受取りコース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、決算日から起算して5営業日目までにお支払いいたします。

分配金自動再投資コース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、無手数料で再投資いたします。

※販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。

課税関係

- 課税上は株式投資信託として取り扱われます。
- 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に限りNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。
- 当ファンドは、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- 配当控除および益金不算入制度の適用はありません。

お申込不可日

以下のいずれかに当たる場合には、購入・換金のお申込みを受け付けません。

- ダブリンの取引所の休業日
- ロンドンの取引所の休業日
- ニューヨークの取引所の休業日

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

- 購入時手数料
ありません。
- 信託財産留保額
ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

- 運用管理費用（信託報酬）

信託報酬の総額は①基本報酬および②実績報酬の合計です。

①基本報酬

ファンドの純資産総額に年0.627%（税抜き0.57%）の率を乗じた額が日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。

②実績報酬

毎営業日、実績報酬控除前の基準価額がハイ・ウォーター・マークを上回った場合に、その超過額の5.5%（税抜き5%）が計上され、ファンドの基準価額に反映されます。実績報酬は、ファンドの運用実績に応じ販売会社が受け取る報酬です。

※投資対象とする投資信託の運用管理費用を含めた場合、年0.843%～年1.232%（税抜き0.786%～1.12%）程度となります。

ただし、投資対象とする投資信託の運用管理費用は、料率が把握できる費用の合計であり、上記以外の費用がかかる場合があります。

また、年間最低報酬額や取引ごとにかかる費用等が定められている場合があるため、純資産総額の規模や取引頻度等によっては、上記の料率を上回る場合があります。

上記の料率は、2025年12月末現在で知り得る情報に基づくものであり、今後、変更される場合があります。

- その他の費用・手数料

以下のその他の費用・手数料について信託財産からご負担いただきます。

- 監査法人等に支払われるファンドの監査費用
- 有価証券の売買時に発生する売買委託手数料
- 資産を外国で保管する場合の費用 等

※上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※ 上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

税金

分配時

所得税及び地方税 配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%

換金（解約）及び償還時

所得税及び地方税 譲渡所得として課税 換金（解約）時及び償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%

※ 個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。法人の場合は上記とは異なります。

※ 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※ 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※ 少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」をご利用の場合

少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」は、少額上場株式等に関する非課税制度であり、一定の額を上限として、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託等から生じる配当所得および譲渡所得が無期限で非課税となります。

ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設し、税法上の要件を満たした公募株式投資信託等を購入するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

委託会社、その他の関係法人等

委託会社	三井住友DSアセットマネジメント株式会社（ファンドの運用の指図等を行います。） 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号 加入協会：一般社団法人資産運用業協会、 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 コールセンター：0120-88-2976 受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く） ホームページ：https://www.smd-am.co.jp
受託会社	株式会社SMBC信託銀行（ファンドの財産の保管および管理等を行います。）
販売会社	いちよし証券株式会社（ファンドの募集の取扱い及び解約お申込の受付等を行います。） 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第24号 加入協会：日本証券業協会、一般社団法人資産運用業協会
投資助言会社	いちよし証券株式会社（ファンドの投資対象とする国・地域の配分に関する投資助言を行います。）

当ファンドの組入投資信託は、

日本株式（バリュー）：SMDAM日本株EVIハイアルファ（FOFs用）（適格機関投資家専用）
 日本株式（中小型）：いちよし日本中小型株ファンド（適格機関投資家専用）
 米国株式：ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー US・コア・エクイティ・ファンド
 欧州株式（バリュー）：ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー ヨーロピアン・バリュー・ファンド
 欧州株式（小型）：ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー ヨーロピアン・スモール・カンパニーズ・ファンド
 新興国株式：ディメンショナル・エマージング・コア・エクイティ・マーケット・ETF

重要な注意事項

- 当資料は、三井住友DSアセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、将来に関し述べられた運用方針・市場見通しも変更されることがあります。当資料は三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 投資信託は、値動きのある証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）および契約締結前交付書面等の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等は販売会社にご請求ください。また、当資料に投資信託説明書（交付目論見書）と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）が優先します。
- 当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。
- 当資料に評価機関等の評価が掲載されている場合、当該評価は過去一定期間の実績を分析したものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

作成基準日：2026年6月19日

